



データサイエンス学部の学生がビッグデータを活用して京都の課題解決アプリを考案 「京都スマートシティエキスポ2025」で発表

■ 商店街を“性格診断”し、タイプに応じた解決策を提案

■ 混雑路線と赤字路線の解消や観光マナーが学べ、オーバーツーリズムの課題を解決

2025年10月3日(金) 10:30~11:30 / けいはんなオープンイノベーションセンター 2Fシアターステージ

京都女子大学（所在：京都市東山区/学長：竹安栄子）は、データサイエンス学部の学生が京都の課題解決を目的にビッグデータを活用したアプリを考案し、10月3日（金）「京都スマートシティエキスポ2025」にて発表する運びとなりましたことをお知らせします。

■学生が京都データマーケットプレイスを活用し、課題解決アプリやフレームワークを考案。

京都府が運営する「京都ビッグデータ活用プラットフォーム」に参加するデータサイエンス学部は、エブリセンスジャパン株、ソフトバンク株と連携し、ハッカソンとアイデアソンを実施しました。データサイエンス学部だけでなく現代社会学部の学生にも参加を呼びかけ、合同チームを結成。各社のサポートを得ながら、京都データマーケットプレイスなどのビッグデータの比較・統合・分析を行い、地域の課題解決を目的としたアイデアやアプリを考案しました。

京都府、エブリセンスジャパン（株）、ソフトバンク（株）による選考会を行い、ハッカソンの上位2チームとアイデアソンの3チームが選出されました。

10月3日（金）の「京都スマートシティエキスポ2025」でハッカソンの上位2チームは発表、全5チームがパネル展示とアイデア説明を行います。

■「商店街診断アプリ」チーム食いしんぼう

商店街に着目した地域活性化アプリ、商店街の診断タイプに応じた解決策を提案。

「地域のつながりの希薄化や人口流出などの地域課題解決のために、地域活性に貢献したい」と考え、「商店街の活性化のためのアプリ」を考案しました。「年齢5歳階級別人口」「介護サービスの利用状況」「市町村観光来訪者数」「市区町村別流出流入人口」など10データから算出したスコアと利用者の世代傾向・周辺の特徴・運営の積極性の3つの観点による全45問の質問結果を比較し、商店街を8タイプに“性格診断”します。また、それに応じた問題点、解決策も提案します。京都市内の全ての商店街の診断ができます。

■「おこしやすなび」チーム中石ゼミ

オーバーツーリズムの課題を解決、混雑路線と赤字路線を解消し新しい観光ルートを提案、観光マナーも学べるアプリ。

観光マナーや文化の違いなどのオーバーツーリズム問題と、赤字路線バス問題の同時解決に挑戦しました。「京都観光に関する市民意識調査」「市バス各系統の営業係数」など8データを活用し、訪日外国人や日本人観光客を対象としたアプリを考案しました。文化理解を深めるクイズ形式の「京都マナーテスト」と、市民の生活を脅かさない赤字バス路線を積極的に活用した新しい「観光ルート提案」をしました。今後の展望としては市バス以外の公共交通機関との連携や、地域ごとの分析をより強化し観光客の様々なニーズに対応できるサービスを目指します。

【報道関係のお問い合わせ先】

京都女子大学広報デスク（プランニング・ポート内）福嶋・井上 TEL：06-4391-7156

京都女子大学 入試広報課 岡橋・竹縄 TEL：075-531-7054

京都女子大学HP <https://www.kyoto-wu.ac.jp/>

※会場準備の都合上、当日ご取材いただける方は、10月2日（木）17時までに添付の返信用紙
もしくはメール・お電話にて上記広報デスクまでご連絡願います。

概要

- 目的・テーマ 京都データマーケットプレイスに掲載されているビッグデータ各アイデアで必要となる様々なデータを活用し、地域課題の解決策を創出する
- 活動の流れ ハッカソン
6月14日(土) ハッカソン 計画書提出 9チームが計画書提出
6月26日(木) ハッカソンオープニングイベント 7チームがプロジェクト制作
9月 9日(火) ハッカソン選考会
10月3日(金) 「京都スマートシティエキスポ2025」上位2チームが発表、パネル展示
アイデアソン
5月14日(水) 3チーム合計14名がアイデアソンに参加
6月 4日(水) 6チーム合計28名がアイデアソンに参加
6月25日(水) 6チーム合計30名がアイデアソンに参加
10月2日(木)・3日(金) 「京都スマートシティエキspo2025」3チームがパネル展示

《発表》

- 発表日時 2025年10月3日(金) 10:00～12:00
■スケジュール 10:30～10:40 講演開始(今回のWGの取り組み説明)
10:40～11:00 食いしんぼうチーム発表
11:00～11:20 中石ゼミ発表
11:20～11:30 表彰式/写真撮影
11:30 講演会終了

- 会場 けいはんなオープンイノベーションセンター 2Fシアターステージ

「商店街診断アプリ」 チーム食いしんぼう 10:40～11:00

- メンバー データサイエンス学部 3年 原伶名(はられいな)
データサイエンス学部 2年 青木優果(あおきゆうか)、林田涼花(はやしだすずか)
森永愛海(もりながまなみ)

- 課題 地域のつながりの希薄化や人口流出など

- 対象 商店街を運営する方々

- 内容 10データから算出したスコアと利用者の世代傾向・周辺の特徴・運営の積極性の3つの観点による全45問の結果を比較し、商店街の“性格診断”を行うアプリ。商店街のタイプに応じた解決策を提案。京都市内ならどの商店街でも使え、公開データをもとに算出した判定を診断ロジックに組み込むことで地域特性を補正。タイプに応じた的確な複数の解決策を提案。

- 使用データ 京都データマーケットプレイス(URL: <https://data-market.smart-kyoto.or.jp/>)

市区町村別、年齢5歳階級別人口／令和5年(2023年) 京都府統計書2-6表

https://data.bodik.jp/dataset/260002_tokeisyo0206

学校基本調査／令和5年度／学校調査票(幼稚園)、(幼保連携認定こども園)、(小学校)、(中学校)

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00400001&tstat=000001011528&tclass1=000001212520>

一般世帯の家族類型別世帯数／令和5年(2023年) 京都府統計書2-1 6表

https://data.bodik.jp/dataset/260002_tokeisyo0216

京都市情報館／介護サービスの利用状況(認定者、事業所数等)

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000296854.html> 等 10データ

「おこしやすなび」 チーム中石ゼミ 11:00～11:20

- メンバー データサイエンス学部 3年 櫻田廣友美(さくらだことみ)、綾部有紗(あやべありさ)
河合玲奈(かわいれいな)、齊藤瑠奈(さいとうるな)

- 課題 京都の抱える観光客のマナー文化の違い

市バスの混雑路線や赤字路線の発生、特定観光地の過剰集中など

- 対象 訪日外国人と日本人観光客(アプリ使用者) 京都市民・自治体・バス事業者など

- 内容 8データを使用し、京都観光の問題点を分析。

赤字路線を使用した「ルート提案」機能とクイズ形式の「京都マナーテスト」機能を合わせたアプリを作成。

「市バス各系統の営業係数」「観光施設データ」など8データを活用し、赤字路線バス上の観光地を調べ、そこを通る「ルート提案」プログラムを作成。赤字バス路線を積極的に使い、観光地のバリアフリー情報をマーク表示、周辺のお店の情報を記載。

- 使用データ 京都データマーケットプレイス(URL: <https://data-market.smart-kyoto.or.jp/>)

観光施設データ https://data.bodik.jp/dataset/260002_kankou_shisetsu

乗合バスデータ https://data.bodik.jp/dataset/260002_tokeisyo1007

ホテル・旅館・簡易宿所データ https://data.bodik.jp/dataset/260002_tokeisyo1421

等 8データ(今後活用予定も含む)

概要

《パネル展示》※発表の2チームと以下のアイデアソン3チーム

■展示日時 2025年10月2日(木)～3日(金) 12:00～17:00 (説明・プレス対応)

※2日は展示のみ(学生は不在です)

■会場 けいはんなオープンイノベーションセンター 1F 全国自治体エリア

「空き家を遊び場に！」 チーム食いしんぼう

■メンバー データサイエンス学部 3年 原伶名(はらいな)
データサイエンス学部 2年 青木優果(あおきゆうか)、林田涼花(はやしだすずか)
森永愛海(もりながまなみ)

■課題 空き家問題、空洞化

■対象 保護者、事業者、地域住民

■内容 空き家を子供の遊べる場所としてリフォームする。解体時に出た木材は遊具や肥料に活用。発電できる遊具を用いてエネルギーを自給自足。非常時には貯蓄したエネルギーを利用。室内のため熱中症や騒音対策にも対応。

■使用・必要データ 住宅の種類、住宅の所有の関係、省エネルギー設備等別住宅数 等

「不登校を減らすために～あなたの今の、きもち教えて？～」 チーム京育隊

■メンバー データサイエンス学部 3年 今村紗世(いまむらさよ)、河合玲奈(かわいれいな)
データサイエンス学部 2年 西田紗妃(にしださき)
現代社会学部 2年 鈴木璃音(すずきりのん)

■課題 増加傾向にある不登校児童・生徒数の減少

■対象 小学生・中学生

■内容 パソコン・タブレットを使用したアンケートによる、不登校のきっかけの早期発見・ケア。

■使用・必要データ 小学校数、生徒数、不登校の児童生徒数 等

「ゲームで変える若者の政治参加」 チームVOTE+

■メンバー データサイエンス学部 3年 加古あやり(かこあやり)
データサイエンス学部 2年 伊藤光希(いとうみつき)、大山かおり(おおやまかおり)
廣瀬友莉(ひろせゆり)
データサイエンス学部 1年 萬木心菜(ゆるぎここな)

■課題 選挙問題

■対象 小学生から大学生までの学生

■内容 政治問題に関心がない若者に政治をもっと身近に感じてもらい、投票に自主的に参加してもらえるよう、「VOTE+」というオンライン政治シミュレーションゲームを通して政治の仕組みを体験してもらう。

■使用・必要データ ゲーム利用状況、若者の政治関心データ 等

京都スマートシティエキスポ2025について

<https://smartcity.kyoto/expo2025/>

■メインテーマ 安寧で持続的な未来を創る地域と産業～「超快適」スマート社会の創出～

■会期 2025年10月2日(木)・3日(金)

■会場 けいはんなオープンイノベーションセンター <http://kick.kyoto/>

(住所：京都府木津川市木津川台9丁目6番地／京都府相楽郡精華町精華台7丁目5番地1)

■主催 京都スマートシティエキスポ運営協議会

※ご来場には事前登録が必要です。本申込書とは別にイベント公式ホームページより登録をお願いいたします。[\(https://smartcity.kyoto/expo2025/join\)](https://smartcity.kyoto/expo2025/join)

(参考) 京都ビッグデータ活用プラットフォームについて

データ利活用を促進するため、大学・研究機関、企業、観光連盟・DMO、行政等の多様なプレイヤーが参画する官民プラットフォームを構築し、新たなサービスやアライアンスの創出を支援し、人が主役のスマートで安寧な社会の創出に取り組んでいます。

この取り組みの一環として、官民の多様なデータを取引できる「京都データマーケットプレイス」を開設し、会員が保有するデータの流通促進及び会員のデータ活用を支援しています。

【返信先】FAX:06-4393-8216 もしくは、fukushima@planning-boat.com

京都女子大学 広報デスク（プランニング・ボート内） 福嶋・井上 宛

**データサイエンス学部の学生がビッグデータを活用して京都の課題解決アプリを考案
「京都スマートシティエキスポ2025」で発表**

- 商店街を“性格診断”し、タイプに応じた解決策を提案
 - 混雑路線と赤字路線の解消や観光マナーが学べ、オーバーツーリズムの課題を解決
- 2025年10月3日(金) 10:30～11:30／けいはんなオープンイノベーションセンター 2Fシアターステージ

※ご来場には事前登録が必要です。
本申込書とは別にイベント公式ホームページより登録をお願いいたします。
(<https://smartcity.kyoto/expo2025/join>)

ご取材 2025年10月3日(金) _____時頃

媒体名		
御社名		
部署名		
ご芳名	他 _____ 名様 ----- (ムービー) _____ 台 / (スチール) _____ 台	
連絡先	T E L	F A X
	E - Mail	
当日の ご連絡先	T E L	

《備考欄》 ご取材につきご要望・ご質問等ございましたら、ご記入願います。

※会場準備の都合上、当日ご取材いただける方は、10月2日（木）17時までに添付の返信用紙
もしくはメール・お電話にて上記広報デスクまでご連絡願います。